

自殺総合対策とは

自殺に追い込まれていく人をひとりでも減らし、自殺で大切な人を亡くした人が悲しみの底から回復していくのを見守り、そうした取り組みを通して、「生き心地の良い社会」を築き上げていくことである。

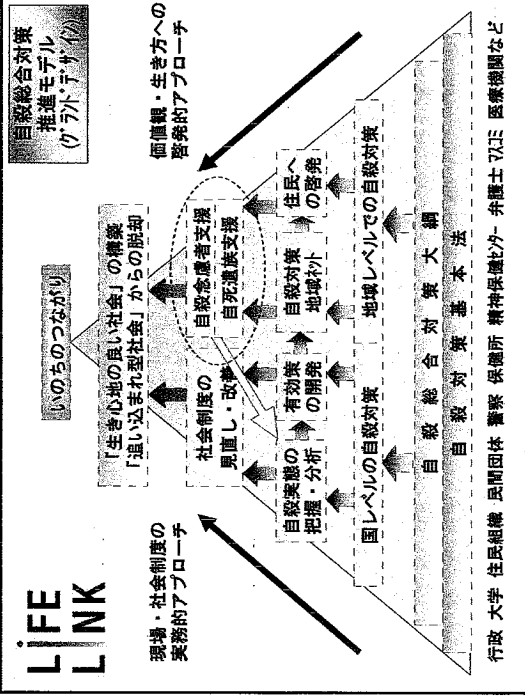
面＝社会全体で行う自殺対策

一対一で行うカウンセリングや治療が「点」の、グループで行う分かち合いや他分野の専門家による連携が「線」の自殺対策だとすれば・・・自殺総合対策とは社会全体で行う「面」の自殺対策である。(＝社会・地域作り)

自殺総合対策推進のカギ

【3つのカギ】

- ◆社会全体で「理念・推進モデル」を共有すること
  - 関係者のみならず社会全体で共有できる「推進モデル」の構築
  - 「推進モデル」を共有するための徹底した対話・意見交換
- ◆自らの限界を自覚し、他者との連携を図ること
  - 「推進モデル」における自分の「立ち位置」の確認
  - 他の関係者(社会全体)の動きを眺みながら連携を予測・想像
- ◆柔軟に軌道修正を図りながら迅速に進めること
  - 「待ったなし」の状況を認識し、徹底したアクションリサーチを遂行
  - 責任の所在を明確にし、特に誰が「推進役」を担うのかを決める

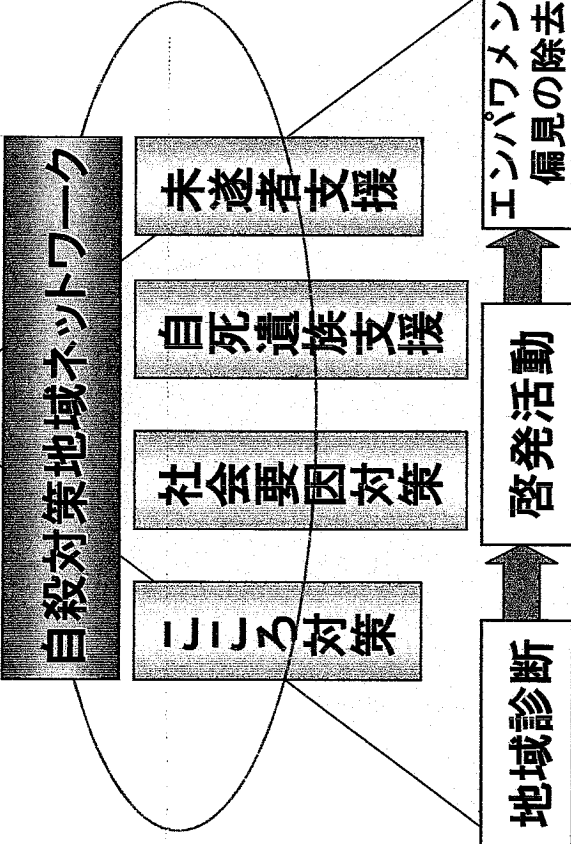


地域の自殺総合  
対策推進モデル  
(グランドデザイン)

自殺対策の  
土壌の開拓  
【そもそも論】  
【シホ・報道】

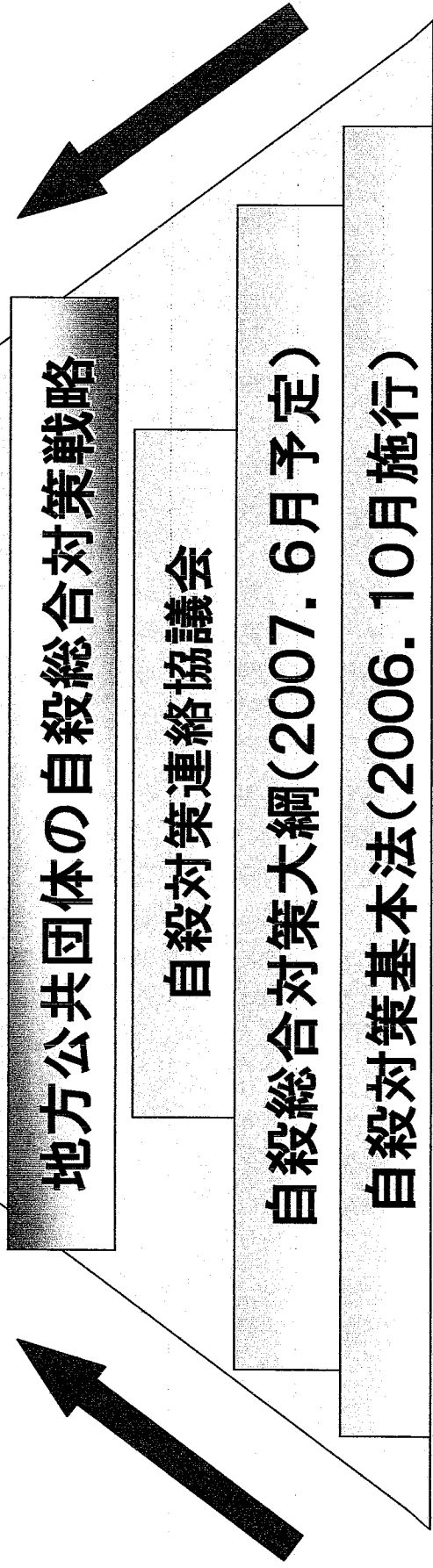
価値観・生き方への  
啓発的アプローチ

住民が健康でいきがいをもって  
暮らすことのできる地域の実現



社会制度の  
見直し  
【福祉政策】  
【条例作り】

現場・社会制度の  
実務的アプローチ



行政 大学 住民組織 民間団体 警察 保健所 精神保健センター 弁護士 マスコミ 医療機関など